

変身市場でよみフェスやろうよ! vol.1 レポート

たべもの のみもの いいにおい
てしごとのものも そろってる



あたまパッカーン!

ちょっとみにきて めぐってたんけん
たのしいもよし ずーっといられる

いのちのながれに ふれるような
たからものが みつかるような
そんないちばが あるという

www.chinoshiminkan.jp/ichiba/

主催：茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造

わらえるえほん なけるえほん
うれしいえほん こわいえほん...
いろんなえほんに であえるよ

へんしんいちばの おくのおく
くらやみのなかに あらわれる
よみきかせごやに ごあんない

しあわせ みんなで わちあい
ドキガムネムネ よみきかせ

やってみたいひと このゆびとまれ
きいてみたいひと まっててね



あたまパッカーン! だれも知らない変身市場へようこそ
暗闇の中にあらわれる「よみきかせ小屋」にご案内します...

もくじ

概要	3
プロセス	4
本番	10
振り返り	18



実行委員会「へんしんカフェ」で子どもたちが遊ぶ様子

変身市場でよみフェスやろうよ! とは?

茅野市民館に地域のワクワクするものが集まり、飲んだり食べたりおしゃべりしたり、アートを楽しむ市場と、とことん絵本とよみきかせを楽しむアート企画「変身市場でよみフェスやろうよ!」。劇場、美術館、図書室や交流スペースのある、茅野市民館ならではのアート企画(座)と、その内容に関連して中身が変化する市場(市)という「楽市楽座」の試みとして、2019年3月17日に開催しました。

地域で活動する高橋淳さん、「よみフェス」提案者でもある富岡史棋さんをそれぞれオーガナイザー、アートディレクターに、公募による地域住民120名による実行委員会形式で2018年10月から企画を準備。実行委員に加え、読書・音楽・アート活動に関わる地域住民やクラフト作家、市場の出店者、地元の書店・美術館など多様な方々、延べ200名の参加により、催事をお届けしました。

市民館のもつ機能を生かし、ロビーからマルチホールにかけて「変身市場」「のんだりたべたりぺちゃくちゃする部屋」「えほんをよむ部屋」「よみきかせ小屋」の4つのエリアが連動する内容。“にぎやかな市場から、交流する空間を経て、本の世界にふれられる静かな空間と、その先にある暗闇の未知の世界へ”をコンセプトに、市場や絵本・よみきかせ、ワークショップ、ステージプログラムなど昼から夜にかけて催事を行い、家族連れを中心に子どもから大人まで3,900名もの方々にご来場いただきました。

日時: 2019年3月17日(日) 10:00-21:00

会場: 茅野市民館 マルチホール / ロビー

入場無料(有料販売あり)

入場者数: 3,900名

実行委員会 / 出店者: 約200名

事業プロセス

ウェブサイト <http://www.chinoshiminkan.jp/ichiba/>
 ブログ <https://henshinichiba.blogspot.com/>



座

中世では商工民の組合組織、田楽・能・歌舞伎などの演技者の集団を指す。江戸時代から劇場を意味する。

+

市

人が集まる場所。原始・古代社会では歌垣・祭祀・会合・物品交換などに用いられた場所。物を持ち寄り売買・交換する場所。



変身市場実行委員長
 辻野隆之 Takayuki Tsujino
 茅野市民館ディレクター / 茅野市美術館長
 + 茅野市民館スタッフ



変身市場オーガナイザー
 高橋 淳 Jun Takahashi
 乙事キャンプ / SouqSouq
 ハケ岳ヴィレッジマーケット
 里山セッション



変身市場アートディレクター
 よみフェスやろうよ! 提案者
 富岡史棋 Fumiki Tomioka
 いちにち絵本喫茶
 おやじのえほんよみきかせ

主催: 変身市場でよみフェスやろうよ! 実行委員会 / 茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造

後援: 茅野市 / 諏訪市 / 岡谷市 / 下諏訪町 / 富士見町 / 原村 / 北杜市 /

茅野市教育委員会 / 諏訪市教育委員会 / 岡谷市教育委員会 / 下諏訪町教育委員会 /

富士見町教育委員会 / 原村教育委員会 / 北杜市教育委員会 /

茅野商工会議所 / 読書の森 読りむ in ちの / 信濃毎日新聞社 / 長野日報社 /

市民新聞グループ(7紙) / LCV / 長野エフエム放送

協力: イルフ美術館 / 小さな絵本美術館

実行委員会「へんしんカフェ」

このプロジェクトの実行委員会のことを「へんしんカフェ」と名付けました。
ワールドカフェ風に、参加者同士が混じりあってやりとりできて
安心していっしょにいられる場にしたいという願いが込められています。

説明会：2018年10月8日(月・祝) / 10日(水)

実行委員会：2018年10月17日(水) / 11月15日(木) / 12月3日(月) /

2019年1月17日(木) / 2月7日(木) / 25日(月) / 3月11日(月) *全8回

おたのしみ会(ふりかえりの会)：2019年4月28日(日)

実行委員会形式でプロジェクトを進めました

「変身市場でよみフェスやろうよ!」をいっしょにつくりあげる仲間を公募しました。

- ・市場が好きな人・絵本やよみかせが好きな人
- ・ものづくりが好きな人・面白いことをやってみたい人
- ・世代間交流や地域のつながりを求める人

実行委員(ボランティアスタッフ)募集

募集期間：2018年9月29日～ 随時

対象：どなたでも(茅野市内外問わず) 実行委員数：120名(2019年3月17日現在)

事業プレゼン 茅野市図書館分室(どんぐりメイト)

茅野市内中学校図書委員会(実行委員として2名参加)

茅野市内中学校校長会 / 茅野市内保育園園長会(当日保育士も多数来場)



考え方って無限。固定概念ではなく
どんな人でも入り交ざり、だれがいてもいい
アート感がある“あたまパッカーン”の市場にしたい。
みなさんといっしょに面白い市場を考えていきたいです。
——オーガナイザー 高橋 淳

“できない”じゃなくて“だったらこうしてみよう”。
強い絆でなく、ゆるいつながりもいいものだと思う。
大切な人といっしょに楽しめる場をイメージして
いろんな人がいっしょにいられる場にしたいです。
——アートディレクター 富岡史棋



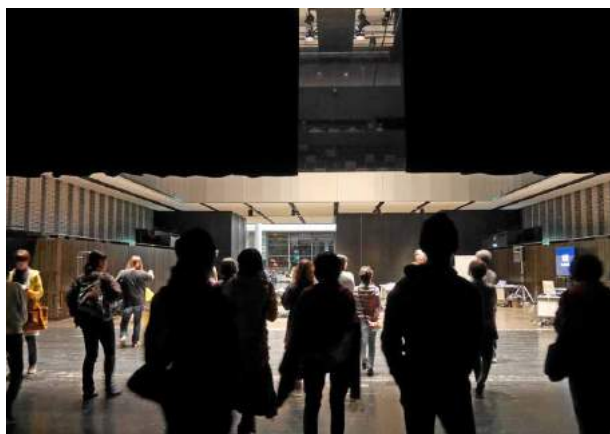
工夫したこと

- ・子どもも大人も初対面同士でも安心して話し合いができる場づくりをしたこと

ふたつのおきて

- 1 あいてのはなしをよくきこう!
- 2 あいてのいいとこみつけをしよう!

- ・ほっとひとときできるお茶を用意したこと(子ども向けののみものも用意)
- ・初対面同士の距離を縮めるアイデアとして「呼ばれた名前」で呼び合ったこと
(手づくりで各自が手描きのダンボール製のネームプレート)
- ・初参加の方対象の説明会を毎回開催して
関わる人の情報量の差をなるべく無くして共有したこと
- ・関わる人の自発性を尊重したこと(なるべくジャッジしない)
- ・えほんを楽しむ「よみかせタイム」をもうけたこと
- ・子どもたちもいっしょに参加できるよう、遊べるスペースをもうけたこと
- ・子どもたちを実行委員みなで見守ったこと
- ・運営側(市民館+オーガナイザー+アートディレクター)の対話を大切にしたこと
- ・いつも愛とユーモアを忘れずに



実行委員長の辻野館長が案内役になり
市民館を知ることから始めた「マルチホールツアー」

実行委員会の活動の流れ

- 自己紹介や動機を共有する「つながり帳」記入 → 会場のイメージをつかむ「マルチホールツアー」
- 4つのエリアと全体でやってみたいアイデアを共有する「アイデア帳」記入（ウェブでも公開）
- 全体空間に関する「いちばたけ」と絵本のテーマに関する「よみばたけ」のグループに分かれてアイデア出し
- 個々のアイデアの「いいところみつけ」と編集、個々の集まりごとに活動
- グループ「市場とステージ」「ワークショップ」「小屋」「よみきかせ」「えほん選書」「ことば」「あんない」ごとに
本番に向けての準備や当日運営の役割によるグループワーク → 開催告知の広報
- よみきかせの読み手募集 → ダンボール本棚づくり（ものづくり週間） → 会場設営・仕込み（しこみ週間）
- 本番の運営 → 片づけ
- ふりかえりの会 → これからの会



説明会の様子
動画を流しながらオーガナイザーの自己紹介



自己紹介や参加動機を書く「つながり帳」
ファイリングして実行委員間で閲覧できる



大人も子どももいっしょになってはなし合う様子



子どもたちの居場所になる遊べるスペース
子どもたち同士のつながりが自然に生まれる



実行委員から出されたアイデアスケッチ
アイデアのいいところを付箋に書いて伝え合う



模型を囲んでアイデア出しをしている様子



会場全体のスケッチを前にして
イメージを共有している様子



各担当グループに分かれてはなし合う様子

アイデア帳

実行委員の自発性を尊重して、自分がやってみたいアイデアを募りました。
ひとりでは考えられないような多様なアイデアが寄せられました。

内容 「変身市場でよみフェスやろうよ!」でやってみたいこと

対象 「変身市場でよみフェスやろうよ!」をいっしょにつかってみたいという方
アイデアがある方、どなたでも

アイデア帳のかきかた

サイズ: A4判 (横 210mm × 縦 297mm)

絵、文章など、かきかた自由

左上にアイデアを実現したいエリア

① 変身市場

② のんだりたべたりぺちゃくちゃする部屋

③ えほんをよむ部屋

④ よみかせ小屋

の番号を記入する

右下に「呼ばれたい名前と日付」を記入

寄せられたアイデア

- ・変身市場のアイデア: 7件
- ・のんだりたべたりぺちゃくちゃする部屋のアイデア: 11件
- ・えほんをよむ部屋のアイデア: 22件
- ・よみかせ小屋のアイデア: 15件
- ・全体のアイデア: 7件
- ・いちばだけのアイデア: 14件
- ・よみばだけのアイデア: 14件

アイデア編集

「アイデア帳」をウェブで公開、共有

→ <http://www.chinoshiminkan.jp/ichiba/idea/>

「いいとこみっけ!」から「いっしょにやりたい人、協力できる人」をみつける

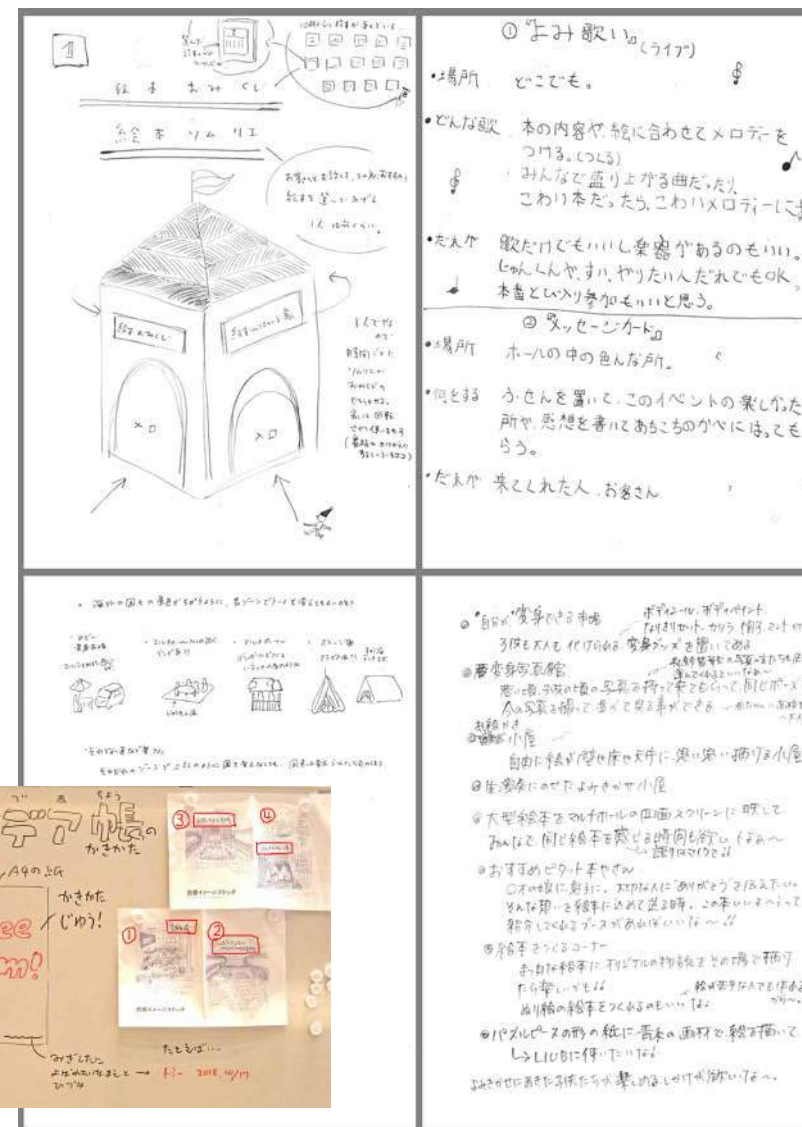
アイデアを編集して実施できそうな形を考える

いっしょにやりたい人、協力できる人と「個々の集まり」で活動し、準備をすすめる

へんしんカフェやメーリングリストで進捗を共有する

アイデア編集の集まり

2018年12月26日(水) / 2019年1月10日(木) / 14日(日) ゆいわーく茅野会議室



実行委員から寄せられた「アイデア帳」の一例

グループワーク

本番に向けての準備や当日の運営のなかで、さまざまな役割が必要になります。そこで、役割ごとにグループ（はたけ）をつくり、具体的に動いていくためにとりまとめ役となる「ケア人^{じん}」を決めて、市民館スタッフがそれぞれのグループの担当となり準備をすすめていきました。

市場・ステージプログラム

2019年3月13日(水) / 14日(木) / 15日(金) / 16日(土) / 17日(日)

市場全体のとりまとめ。

市場ステージの進行やプログラムづくりを考える。

音響確認、ティピーテント建込み、キッチンカー・ブックトラック搬入、出店者搬入、バー建込み、映像体験ブースづくり

小屋づくり

2019年2月24日(日) / 3月2日(土) / 13日(水) / 14日(木) / 15日(金) / 16日(土)

よみかせ小屋のデザインや、つくりものについて考える。アイデアをもとに制作する。

よみかせプログラム

2019年2月15日(金) / 20日(水) / 28日(木)

3月6日(水) / 13日(水) / 15日(金) / 16日(土) / 17日(日)

よみかせ小屋でのプログラムづくり、仕組みづくりを考える。

掲示や整理券配布などの準備・設営、読み手のアテンド、来場者の受付、案内など当日のよみかせ小屋運営全般を行う。

えほんの選書・コーナーづくり

2019年2月13日(水) / 3月1日(金) / 13日(水) / 14日(木) / 15日(金) / 16日(土) / 17日(日)

えほんをよむ部屋のテーマ別絵本の選書を考える。本の準備、設置、当日の管理を行う。



ワークショップの内容・プログラムづくり

2019年2月15日(金) / 3月1日(金) / 14日(木) / 17日(日)

ワークショッププログラムの内容や仕組みづくりを考える。

会場の飾りつけ、来場者の受付、実施など、当日のワークショップ運営全般を行う。

あんないばたけ（会場案内係）

2019年3月4日(月) / 14日(木) / 16日(土) / 17日(日)

来場者への総合案内の内容や仕組みづくりを考える。

総合案内所の設営や飾り付け、当日の総合案内業務を行う。

ことばたけ（広報 / PR / 会場案内サイン）

随時

会場案内の表記内容や配置を考える。配布物や掲示を作成する。

ものづくり週間

2019年2月22日(金) / 23日(土) / 24日(日) / 25日(月) / 27日(水) / 28日(木)

「えほんをよむ部屋」の選書絵本コーナーに使用する、子どもたちでも安全なダンボールの本棚をワークショップ形式で手づくりしました。くぎの代わりに割り箸を使い、本が並べられるものと、面出しができる2種類を制作。希望者は使用後は自宅に持ち帰って各自使用しています。



しこみ週間

2019年3月11日(月) / 12日(火) / 13日(水) / 14日(木) / 15日(金) / 16日(土)



3月10日

市民館技術スタッフと座席移動の市民スタッフのみなさんの手で、マルチホールが当日仕様の形になりました。11日、12日は会場の建込み作業をすすめ、11日の「へんしんカフェ」では実行委員が変身中の会場見学をしました。

3月13日

よみきかせ小屋の小屋づくりと、会場の建込み作業。

絵本の選書グループは、「えほんをよむ部屋」に並べる本の仕分け作業や、ダンボール本棚のコーナーづくり。

よみきかせプログラムグループは、「よみきかせ小屋」の受付方法や案内の手順をシミュレーションしながら検討しました。

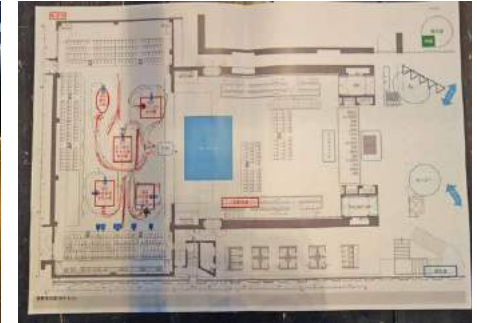
「変身市場」のステージでは、「よみうたい」のアイデアをもとにした実行委員ユニット「SuiJun」が試演。

演奏の音が「えほんをよむ部屋」まで響いてくることがわかりました。

ステージの躍動感をそこなわず、絵本の空間を大切にできるよう試行錯誤し、市場エリアと接する後壁扉を、開放する予定から閉めるように変更しました。

「ここで届けたいことはなにか」ということを、その場のみんなでいっしょに掘り下げ、柔軟に対応していくものづくりのやりとりの一端を経験しました。





3月14日

[えほんをよむ部屋][よみかせ小屋]エリアの小屋づくり。
絵本の選書グループは、本棚の位置決めや絵本の仕分け作業。
作業スペースの楽屋では、総合案内を担う「あんないばたけ」の打合せと目印づくり。
[変身市場]エリアでは、大きなテント「ティピー」を建て、キッチンカーを搬入。ステージの準備も進みます。
[のんだりたべたりぺちゃくちゃする部屋]には、ブックトラックを搬入。
ワークショップエリアでは、ワークショップの内容・プログラムづくりグループが会場準備とプログラムの最終調整。



3月15日

掲示物・広報物のデザイン・制作作業が進みます。
絵本の選書グループは、絵本のテーマ別本棚に合わせて看板づくりや本の仕分け作業。
よみかせ小屋も徐々に全容が浮かび上がってきました。
そのうちのひとつ「繭の小屋」は、手のあいている人たちが入れ替わりで装飾作業をお手伝い。
よみかせプログラムのグループは、受付・チケット配布場所の想定をたて、作業を進めます。
中庭の縄文小屋や[変身市場]のバー、[のんだり食べたりぺちゃくちゃする部屋]の吊りものなどのつくりこみ。
前日16日と本番17日のため、市民館の近所の皆さんにご協力いただいて臨時駐車場も用意しました。



3月16日

会場には出店者がおみせを並べはじめました。
中庭の縄文小屋も形ができ、のこりのキッチンカーもすべて館内に入りました。
よみかせ小屋はあとひと息。よみかせのシミュレーションをして、当日に備えます。
実行委員の準備もあわただしく進みます。絵本を会場に並べ、ワークショップの空間を整えます。
会場全体のつくりこみの様子を見ながら、ふたつの総合案内所を設置。
実行委員オリジナルTシャツは、試作まで進んだものの、今回は時間切れ。
よみかせ小屋は、プログラム・受付・案内と、準備から当日対応までほんとうにたくさんの仕事があり、本番はあまり会場を見られないかも…と、つくりこみ中の会場内をツアーしました。

1 変身市場

キッチンカーが並び、ティピーテントがそびえ、小さなお店がひしめきあう。異国の路地に迷い込んだかのような賑やかな市場がロビーに出現しました。入口2カ所に案内係が立ち、来場者を招きます。

市場にはブラジルの揚げパイ、パン、カレーや和菓子、お茶、コーヒーなどおいしい飲食物をはじめ、古道具、雑貨など多様な出店が所せましと並び、めぐって楽しい空間に。テーブル席の開けた空間にはステージを設え、演劇や語り、音楽など9組の出演者によるパフォーマンスが終日繰り広げられました。映像作家によるブースやDJタイム、夜のバーなどもあり、おとなたちが楽しめる時間もありました。

パフォーマンス

おでかけ隊：劇場と地域をつなげる市民館生まれのユニット。絵本の劇的よみきかせ。

きたじまごうき：原村在住の絵本作家。よみきかせパフォーマンス

方言桃太郎：農家民宿「かのうや」、笹原区 区長。地元の方言でよみきかせ。

たまご布林：サクソフットやトランペットによるこども向け音楽ライブ

村上陽一：原村の塾講師。トーク。

くり：アジア&ケルト系ユニット。民族楽器による音楽。

SuiJun：実行委員会から生まれた12歳と40歳のコラボ。歌よみきかせ。

あいだえん：セッション人形劇

えいみー沖縄絵本：沖縄絵本のよみきかせ

野宿火：ギターとDJと映像のセッション

※飛び入り：地元高校生による詩「生きる」の朗読

DJ：乙事亭成太、リゾート、R∞、Jun

リキッドライト(OHP)映像部屋：茅野市出身の映像作家、ハラタアツシによる体験型映像ブース

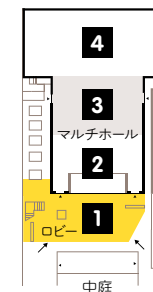
届け手の人たち

実行委員：市場・ステージプログラムグループ / あんないばたけ(会場案内係)グループ

市場出店者(飲食、雑貨、体験)

ステージ出演者 / パフォーマー

会場図



アイデアスケッチ

たべもの、のみもの、てづくりのもの
いろんなおみせがならんでるところ
めいろのようなせかいをたんけんしよう!



あかい案内所の受付をする実行委員のみなさん



おでかけ隊



まん中にティピー



フードコートでのよみきかせ



きたじまごうきさんによるよみきかせ



フードコートでのよみきかせ



方言桃太郎



たまごプリン



SuiJunによるよみうたい『ぼくを探しに』



沖縄絵本のよみきかせ



リキッドライト (OHP) 映像部屋

2 のんだりたべたりぺちゃくちゃする部屋

変身市場から細い通路を入ったその先は、絵本やおもちゃ、クラフトが並び、ブックトラックが待ち受ける「のんだりたべたりぺちゃくちゃする部屋」。絵本の世界が飛び出してきたようなワクワクする空間が広がりました。

実行委員の楽しいデコレーションによるワークショップコーナーでは朝から晩まで一日中楽しめる16のプログラムを用意し、終日大勢の参加者でにぎわいました。

茅野市内の書店と、諏訪地域の絵本美術館の出張コーナーには絵本やおもちゃ、グッズが並び、クラフト作家の出店ブースでは手しごとの作品が彩りを添えました。出店ブースごとに独自のワークショップも行なわれ、絵本美術館の出張コーナーでは「ばばあちゃん」シリーズの絵本作家、さとうわきこさんのサイン会も開かれました。

ワークショップ

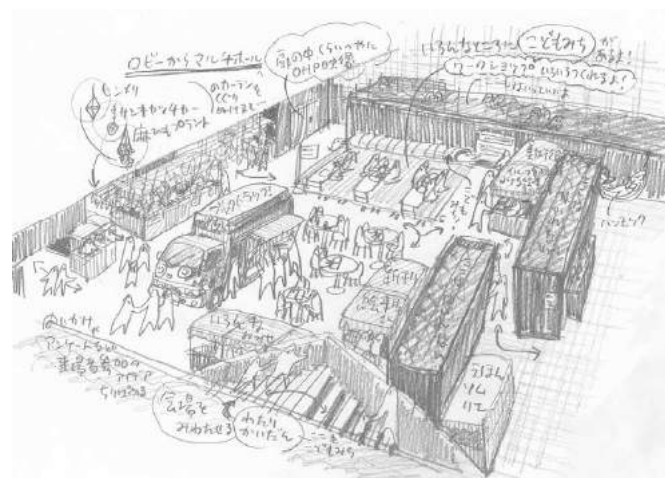
16プログラム

出張

絵本の美術館・書店：
イルフ童画館（岡谷市）
小さな絵本美術館（岡谷市、原村）
今井書店（茅野市、富士見町）

届け手の人たち

実行委員：ワークショップの内容・プログラムづくりグループ / 市場・ステージプログラムグループ
市場出店者（図書 / クラフト）
諏訪地域の絵本美術館
茅野市の書店



アイデアスケッチ



ゆっくりとリラックスできるところ
ほんやさんにはえほんやグッズがあって
たのしいワークショップもやってるよ



ホールの中にブックトラックが出現



ワークショップはいつも子どもたちでいっぱい



地元の絵本の美術館と本屋さんの出店



ブックトラックの中



会場を見渡することができる階段通路



吊り下げアクセサリーのキラキラ通路



ヒンメリや各種アクセサリー



イルフ童画館



小さな絵本美術館 / さとうわきこさんサイン会



今井書店



古書

3 えほんをよむ部屋

「のんびりたべたりべちゃくちゃする部屋」から壁の間を抜け、あるいは階段を上り下りして行き着く先は、絵本が大集合した「えほんをよむ部屋」。テーマ別を選書した絵本を、手づくりで小さな子にも安全な段ボール本棚に並べました。箱馬のイスやテーブル席、のんびり読める畳スペースを用意し、ひとりで読んだり家族でよみかかせたり、絵本を楽しむ人たちににぎわいました。

会場内では「よみかかせ、いつでもやります」の札をつけた人や、絵本の楽しさをお伝えする「えほんソムリエ」が、さまざまな絵本をご案内。ちゃぶ台を囲み、明るい空間でよみかかせを楽しめる「とびいりよみかかせ小屋」や、絵本についての思いを聞く小屋「聞き屋」、遊んだり休憩できるマットのフリースペースなども用意し、思い思いに絵本の世界を楽しむ場となりました。

テーマ別・えほんコーナー

【よだれだらだら おなかぐうぐう】おいしそうなえほん
 【だききってすっきり】うんちのえほん 【みちかなふしぎ】かがくのえほん
 【へんしんワールド】へんしんがでてくるえほん 【ぼうけんにいこう】ぼうけんするえほん
 【よんでうたっておどっちゃおう】おどりたくなるようなえほん
 【ことばあそび】オノマトペなどのでてくるえほん 【ぞくぞくどきどき】こわいえほん
 【おとなによんでほしいえほん】おとなのまぜこぜえほん
 【クッスニッコガハッハッ】おもしろいえほん わらえるえほん
 【おすすめえほん100冊大集合!】いろんなえほん いろんなたのしさ
 【ゆかりのえほん】ちいさなゆかりのあるさっかのえほん

とびいりよみかかせ小屋

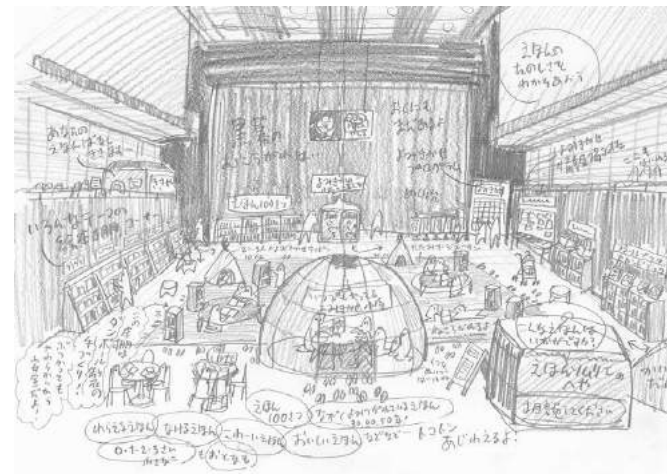
いつでもよみかかせ

えほんソムリエ（読書アドバイザー）

とびいりよみかかせ小屋

届け手の人たち

実行委員：えほんの選書・コーナーづくりグループ / 小屋づくりグループ



アイデアスケッチ

会場図



いつでもよみかかせをしてくれて
 いろんなえほんとであえるところ
 えほんのたのしさわかちあおう



とびいりよみきかせ小屋でちゃぶ台を囲んでのよみきかせ



くつを脱いで入るたみのスペース



ダンボール製の本棚の前で絵本をよむ親子の姿



いつでもよみきかせの様子



子どもたちだけのよみきかせ



男性のよみきかせ



親子の姿



子どもにやさしいマット



休憩用テーブル



全景



聞き屋

4 よみきかせ小屋

「えほんをよむ部屋」の奥、黒いカーテンで仕切られた向こう側に、5つの「よみきかせ小屋」を設えました。日常から離れた暗闇のなかの小さな空間で、地域の方々による多彩なよみきかせをお届けしました。

よみきかせ小屋のプログラムは「えほんをよむ部屋」の隅に掲示。ホール通路の「整理券配布場所」で各プログラムの整理券を配り、バス停に仕立てた待合場所から「くらやみ案内人」がよみきかせ小屋へ案内しました。

よみきかせはボランティアの「よみびと」がそれぞれのプログラムで実施。

ちゃぶ台の小屋

11プログラム

ちゃぶ台を囲んだあたたく親密な空間で、絵本の世界に入り込みました。

まっくろけな小屋

11プログラム

真っ黒のため外観の見えない小屋。なかは明かりがとまり、静かな語りからにぎやかなよみきかせ、パネルシアターや歌遊びなどを楽しみました。

バス停風の小屋

7プログラム

バス停と待合室に見立てた小屋。椅子に座ってにぎやかにおはなしの世界に入り込みました。

音を吸収する小屋

8プログラム

室内に吸音する素材を敷き詰めた小屋。独特の静けさのなかで、語りや朗読の声がずっと沁みわたる落ち着く空間となりました。

まゆの小屋

9プログラム

暗闇のなかに光る繭をイメージした小屋。ドライフラワーなど植物の飾り付けをほどこし、アロマオイルによる香りの演出で心地よい空間をつくり、よみきかせだけでなく癒しを感じるひとときをお届けしました。

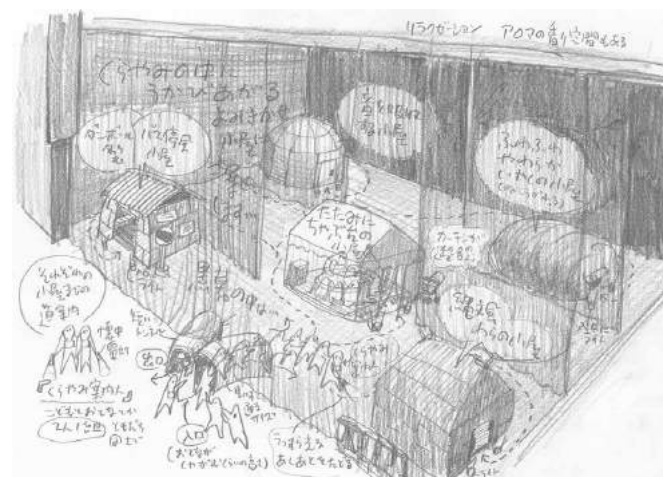
縄文小屋

3プログラム

中庭に設置した野性味あふれる小屋。よみきかせやオカリナの演奏体験などを楽しみました。

届け手の人たち

実行委員：よみきかせプログラムグループ / 小屋づくりグループ よみきかせボランティア（よみびと）：75名



アイデアスケッチ

会場図



くらいカーテンのむこうがわ
くらのなかにあらわれる
よみきかせごやにごあんないします...



よみかせプログラム掲示板をみる人たち



まっくろけな小屋の中のよみかせ



暗闇に浮かび上がるまゆの小屋



よみかせ小屋の集合場所



これから暗幕の中のよみかせ小屋に…



よみかせ小屋への入り口



ちゃぶ台の小屋



バス停風な小屋



音を吸収する小屋



まゆの小屋の中



中庭に設置された縄文小屋

message

2019年3月17日、茅野市民館において「変身市場でよみフェスやろうよ!」が実施され、歴史が刻まれたこと、主催者ながらも歓喜の念に震えるとともに、実行委員として、事業プレイヤー・サポーターとして、さらには、フェスティバルへのご来場者として、プロジェクトを推進いただいた皆様への感謝の気持ちでいっぱいでございます。

実行委員長として制作プロセスを整えながら、「小屋のケア人ワーキンググループ」での製作進行は、久々に受容力の限界に挑戦するもので、若き日の「修行」が思い起こされ、「産みの苦しみ」の充実感を楽しむとともに、まさに、「あたまパッカーン」な状況を体感することができました。

法律家・人類学者のPhilip James Hamilton Griersonが論じた「人類集団が平和に交流できる中立的な場所として、市場は、その存在によって特定の場所に平和が保存され、それが市場への路や人物にも広がることで平和の範囲が進展する」を趣意として心に抱き、事業実施いたしました。

この「楽市楽座」には、約4000名という大勢の方々を集っていただきました。至らぬことも多々あったことと思いますが、一人ひとり、または友人と、または家族で、それぞれの居場所や心緒を見つけていただけたでしょうか？ 思いもよらない素敵な遭遇がありましたでしょうか？ 心が揺れ、その豊かさに繋がる「ひととき」を楽しんでいただけましたならば幸いです。

今回は、絵本や童話、そして読み聞かせなど、「ものがたり」との出会いの場を茅野市民館マルチホールに出現させてみました。表現される「ものがたり」を受け止め、想像し、自己の感性に照らしてみる。さらには他者の想いと照らし合わせてみる。そこに「対話」が生まれる。そして対話の輪が拡がり、内にある、外にある、なにものかと話しをしてみる。そして、寄り添ってみる。ときには、宝物が見つかることもありましょ。

「変身市場でよみフェスやろうよ!」という夢プロジェクトに、皆様と力を合わせ「挑戦」し、また一つの共有する「抽斗」を増やすことができましたことに感謝するとともに、次の「あゆみ」に繋げていきたいと思ひます。

変身市場実行委員長 辻野隆之
茅野市民館ディレクター / 茅野市美術館長

「変身市場でよみフェスやろうよ!」に携わり得たものがあります。

オーガナイザーと言う立場で皆さんに世界観を提案する立場ですが、このプロジェクトは色々な立場の人が参加して成り立つことと、自分の世界観を超えた素晴らしいものがあると強く感じました。

中でも、ボランティアスタッフと市民館スタッフです。

私は仕事として携わった部分が大半でありながら、ボランティアスタッフの方々は想いだけで参加し作り上げて行くように感じ、申し訳ない気持ちと、嬉しい気持ちが混ざっていました。皆さんの感性やアイデアが自分にはないものばかりで、いつも会議（へんしんカフェ）の時は驚きと面白さを感じていました。

市民館スタッフは、仕事とはいえ私やアートディレクターの富岡さんの考える世界観を真摯に受け止め形にしていくな姿に感銘を受けました。思い描いたものを伝えるのは凄く大変なことです、しっかりと受け取って頂いたことに感謝しています。

市民館や劇場のスタッフは出来て当たり前の業界だと思いますが、茅野市民館のスタッフは輪をかけて真面目さと優しさがあるのでやりやすかったですし、これが素晴らしいものを作る基本だと思いました。

これから私はこの地域の発展や盛り上げのためにプロジェクトを色々やって行くと思います。「変身市場でよみフェスやろうよ!」で得たものは大きく、続けて行くためにはそれぞれの方を尊重し理解し、コミュニケーションをしっかりとって行くことだと強く感じました。このプロジェクトの本題は絵本と市場でしたが、イベントの面白いところは本題と別のところに大事なことがあることです。

以前からそれを感じてやってきましたが、今回改めて強く感じました。仕掛ける側に色々なものを気づかせていただき本当に感謝しております。ありがとうございました。反省や改善点は色々あると思いますが、大成功だったと思っています。

変身市場オーガナイザー 高橋 淳

積極的に子ども・子育てを支援する「プラス」の施策「みたか・子どもと絵本プロジェクト」の一環として「神沢利子展プロジェクト」という三鷹市の市民協働事業に家族全員で関わったのは2006年のこと。そして2010年末、八ヶ岳の麓での暮らしに惹かれて茅野に移住しました。移住後、妻の発案で自宅を開放した家族行事「いちにち絵本喫茶」という絵本カフェをたまにひらいています。また、普段わたしは保育園と小学校に「おやじのえほんよみきかせ」という名で出役しています。茅野では「こども読書の森づくりプラン」があり、「読りーむ in ちの」をはじめ、このプランに取り組んでこられた方々のおかげで、先生や子どもたちにあたたかく迎えられています。とてもうれしきことです。この地域は、絵本の存在が身近に感じられます。

よみきかせとは、相手のはなしに耳を傾けることでもあります。よみきかせの空間は「きこう・伝えよう」というあたたかな空気に包まれます。現実世界では、「生きる価値がある人間、ない人間」なんていう共感できないことばを耳にしますが、「存在価値」ということばがあるし、いや、価値があるかないかではなく、存在自体が尊いと思います。みな生きている。生きものの存在を肯定しようとするまなざしを、わたしは絵本からも感じています。また、よみきかせを通して、子どもたち（見た目は大人も含む）と生のエネルギーの交歓ができることは、何よりもしあわせでありがたいことです。

茅野市民館では、「よりあい劇場」という名で毎年市民から主催事業のアイデア提案を募っていることを知っていますか？ この事業は市民へ芸術文化（いのちの流れにふれること）を還元する目的があるということです。「変身市場でよみフェスやろうよ!」は、このアイデア提案の場から生まれました。そして、市内外問わず「この指とまれ」で集まった市民参加の実行委員会形式にしたことも大きな特徴です。親に連れられて参加した子ども同士がつながっていくうれしい姿もみられました。

実行委員会では、参加してくれる人たちの自発性をなるべく尊重しました。みんなの内側から湧き出てくるいろんなアイデアを寄せ集め、編み直してかたちにしていくなプロセスが面白かったです。「変身市場でよみフェスやろうよ!」は、最初の構想段階では思いもよらなかった、今まで味わったことがない不思議な場所となりました。

開催できたことが奇跡のようなこのプロジェクト。主催していただきました市民館はじめ、関わっていただいた全ての方に感謝いたします。ありがとうございます。これからも、いろんな人がいっしょにいられる場所をつくっていきます。また何か面白いことや楽しいことをごいっしょしましょう。

変身市場アートディレクター 兼 よみフェスやろうよ! 提案者 富岡史棋

よみきかせプログラム

●ちゃぶ台の小屋	11:00	はらぺこあおむしとなかまたち：あいちゃん、渡邊幸子、典さん、田村義明、やまむろさ〜ん	
	11:50	まぜこぜのへや1：渡邊幸子、田村義明、とっこ	
	12:40	きて、みて、きて!! わたしの好きな絵本：クロちゃん、ミーコ、カビィー	
	13:30	点字でよむ絵本：ひげ、小平嘉清、点訳：川崎博子、相星レイ子	
	14:20	とっておきの絵本ごしょうかい!：きたじまごうき	
	15:10	絵本のあの子、大きくなったら何してる!?：ふりさん	
	16:00	越後の女・ふたり語り：タバサ。、矢野要子	
	16:50	まぜこぜのへや1：あいちゃん、若林利江子、めぐさん	
	17:40	いっしょにグラグラしない?：トミー	
	18:30	おとがたり：KATSU (from KURI)	
	19:20	おやじのえほんよみきかせ：トミー、アッキー	
●まっくろけな小屋	10:30	0歳から100歳までのおはなしの部屋	わらべうたを楽しみましょう：このゆびとまれ
	11:00	0歳から100歳までのおはなしの部屋	絵本と紙芝居を楽しもう!：このゆびとまれ
	12:00	0歳から100歳までのおはなしの部屋	林明子の世界：このゆびとまれ
	13:00	0歳から100歳までのおはなしの部屋	絵本と紙芝居を楽しもう!パート2：このゆびとまれ
	14:00	0歳から100歳までのおはなしの部屋	絵本とブラックバネル楽しもう!：このゆびとまれ
	15:00	0歳から100歳までのおはなしの部屋	絵本とブラックバネル楽しもう!パート2：このゆびとまれ
	16:00	0歳から100歳までのおはなしの部屋	絵本とバネルシアターを楽しもう!：このゆびとまれ
	17:50	0歳から100歳までのおはなしの部屋	あったか〜いよせなべ語りを楽しもう：このゆびとまれ
	18:40	0歳から100歳までのおはなしの部屋	なんかなつかしい語りの世界：このゆびとまれ
	19:30	0歳から100歳までのおはなしの部屋	竹内心郁 朗読の世界：このゆびとまれ
	20:00	0歳から100歳までのおはなしの部屋	竹内心郁 朗読の世界：このゆびとまれ
●バス停風の小屋	12:10	くらべよう英語と日本語の本：小淵玲子、石田 瞳、中野妙子	
	13:00	おかいものへいこう!：あやちゃん	
	13:50	R-13 13才以上のみなさんに向けた本：けーこちゃん	
	15:30	ようこそ、胸キュン小屋へ!：かずえさん、小松志づ子	
	16:20	平和って? 戦争って?：出口富美子、齋田喜久子、田村よもぎ、加藤津恵子、本多淳子、島田敏子	
	17:10	大人にとっての英語絵本：小淵玲子、石田 瞳、中野妙子	
	18:00	土のひとり言 聞いてみっぺ!：タバサ。、矢野要子	
●音を吸収する小屋	11:30	絵本を手話でよむ：ひげ	
	12:20	40分世界一周：蒲谷和江	
	14:00	とびいりタイム	
	14:50	やぎとまゆといっしょにえがお：やぎちゃん、まゆちゃん	
	15:40	いっしょにザワザワしない?：トミー、ぶどう	
	17:20	宮沢賢治の部屋〜『ほんとうのしあわせ』ってどこにあるの?：クロちゃん	
	18:10	白鳥座・さそり座 銀河をめぐる〜みんなで夜空を旅しましょう!：クロちゃん、郁ちゃん、ぶどう	
	19:00	宮沢賢治の部屋〜生きること・死ぬこと賢治はどう考えた?：ぶどう	
●まゆの小屋	19:50	断念と希望 藤沢周平の世界：ぶどう	
	10:50	はるのおはなし	
	11:40	香りをたのしもう：あやこさん	
	12:30-13:10	ごろりおやすみタイム ※まゆの小屋体験ツアー	
	14:10	香りをたのしもうその2：あやこさん	
	15:00	ことばのリズムがステキなほん：細川美歩子	
	16:40-17:20	ごろりおやすみタイム ※まゆの小屋体験ツアー	
	17:30	物語えほんをたのしむ	
	18:20	とびいりタイム	
	19:20-19:55	ごろりおやすみタイム ※まゆの小屋体験ツアー	
	20:10	まゆ小屋いらないお話	
●縄文小屋【中庭エリア】	10:00-17:00	オリジナル絵本『縄文のもりのようちえん』（絵・文 比留間麻衣子） よみきかせ・オカリナ樹音（じゅね）の演奏・縄文夜話 鶴岡恭子、鶴岡幸雄、伊藤美穂子、柴井久美子、濱 里衣、比留間麻衣子	

みんなの声

変身市場でよみフェスやろうよ！ 来場者アンケートより

①たのしかったこと・よかったこと・発見したことはなんですか？

・絵本たくさん。テーマで分かれていて、とても見やすかったです。たたみスペースが良かったです。

・本のしゅるいがたくさんあってよかった。

・子どもを連れて来て、大人も楽しめました。もの凄くそれぞれ自由な空間が、ワクワク、ドキドキいっぱい良かったです。時間が少ししか居られなかったですが、子どもと楽しめました！

・普段と違う空間で、食べたことないもの食べて好きなだけ本が読めて良かったです。大人ものーんびり出来ました。

・絵本の読みきかせがとてもステキで楽しく、大人も絵本の世界へすいこまれました。

・（ステージでの）おでかけたいのしかった。

・すいちゃんの朗どく（suijun）よかった。絵本作家さんのよみきかせ（きたじまごうき）よかった。

・（さとうわきこさんの）サインがもらえてうれしかった。あそべてうれしかった。
・よみきかせ小屋のしくみがおもしろかった（へやまでバス停からあんないしてもらえる）。

・たくさんのワークショップがあって作れたので楽しかった。

・いろいろな方がスタッフとして参加されていたことに驚き、じーんとしました（車イスの方や、高校生や）。暗やみ案内のツアーは、ディズニーランドのツアーのようでドキドキのしかったです。大人のためのよみきかせも（ふだん機会がないので）とてもたのしかったです。自分が親になったらよみきかせるばっかりなので（それまたのしいですが）。

・大人になると絵本をあまり読まなくなっていたので、久しぶりに読むと、昔と違って、大人が読むためにかな？的な本もあり、とても楽しかった。よみきかせ小屋もくふうがあり、ワクワクする空間でした。次回も楽しみにしています。ぜひ一日といわず3日間くらいやって欲しいです。

②「もっとこうなればいいな」ということはなんですか？

・よみきかせ小屋が人気で参加できず残念でした。

・小学高学年の子供達も楽しめることが、もう少しあったらいいなと思いました。

・もう少しゆったりとスペースをあけて1つ1つのブースがあれば良いと思いました。

変身市場でよみフェスやろうよ！ 実行委員の感想より

①よかったこと

・多くのお客様にお越しいたいて、会場がとても賑わっていたこと。

・子どもたちのワクワクが詰まった場所と時間になったこと。

・家族で本を囲む姿が見られたり、読み聞かせに食い入る子どもたちが見られて嬉しかった。

・クレープ屋さんの待ち列、子ども達が楽しそうにワークショップ作品を見せてくれました。

・大きなお茶の間の出現、絵の通り実現して感動でした。

・読み聞かせしてもらうことがあんなに楽しいものだと知りませんでした！

・絵本というツールが、こんなにも暖かい空間を生むことを知れたこと。

・はじめてのよみフェスに立ち合えたこと。

・「読み聞かせ」の活動をされている方が、諏訪地域にはこんなにたくさんいて、こんなに熱心に取り組まれているとは知りませんでしたが、今回のイベントに参加された実行委員の方々同士が、「点と点」の活動から「点と線」や「線と面」の活動につながっていく感じがすごいなぁと感じました。

・小さいお子さん達から小学生の実行委員の皆さんもたくさん活躍しておられて感心しました。

・連日一緒にやった仲間と絆が生まれたこと。

・一つのイベントを通して、“繋がる”体験を様々な世代で分かち合い、分かち合った思いを発表し形にする場所があったこと。

・実行委員会の時に、子ども同士が遊べて、それを子供自身が楽しみにしていたこと。高校生のお姉さんにも遊んでいただけました。その風景を見ただけで、ほっこりしました。

・実行委員会の開かれた窓口、素晴らしいアイディア、できるだけ否定せず実現に向ける協力をするというコンセプト、みんなを引っ張ってくれたトミーさん、じゅんさん、スタッフみなさん、中心になってくれたみなさん、準備も当日も毎回本当に楽しかったです。参加させていただいてありがとうございます。各はたけでどんどん創造が進んでいく毎日、市民館のホールがどんどん変身して4つの部屋が出来上がっていくところ、忘れられないです。

・「よむ、変身」をキーワードに、想像の世界のものを形に変えて実現させていく過程を、全てではありませんが共有でき、とても幸せな時間であり、自分の中にある想像、創造の力が、揺さぶられた気がしました。また、その空間に、あんなに大勢の人が関わり、参加し、茅野、諏訪地域の人たちのアートにかかる底力を垣間見た気がします。

②もっとこうなるといいな

・聞き手、観客を意識して、十分に練習して、よりよいものを提供できるようにしていきたい。（自戒）

・本棚のテーマを絵本に限らず、図鑑(自動車、電車、動物!鉱物など)や、音楽、工作などなど…の本も本棚に入れたらいいな。

・読み聞かせ小屋のチケットが開始時間のかなり前になくなってしまって、入れなかった子どもさんやお客様たちがお気の毒でした。

・お客さんから暗やみのコーナーに、ただ入って中の様子を見たかったと。特に子どもたちから言われました。

・お昼過ぎあたりから、会場全体が混み合いはじめて、特に幼児のお子さんと一緒に親御さんが大変そうな印象でした。

・当日、屋内はぎゅっとした感じもワクワクしてまた良かったです、通路がもうすこし広くできると良いなと思いました。（ベビーカーが通るのが大変そうでした）

・せっかく作ったセットなどを壊すのがもったいなかったので、2日間くらい開催して欲しいです。

・実行委員の皆さんがもっと楽しめれば良かった。

実行委員のわたしの三大ニュースより

・ボランティアスタッフの数、会場の大きさ、イベントの大きさ、来場者のみなさんの数、こんなに大きなイベントに関わることでできてうれしかった。

・トミー、じゅんくんファミリーをひとつとするよみフェス仲間と出会えたヨ！ Thanks !!

・案内畑やりきった。

・ほんだな（づくり）たのしかった。

・息子に絵本を読んでもいましたが、大人になって、絵本を読んで聴かせてもらうという体験が新鮮でした。知らなかった素敵な絵本とたくさん出会うことができ、とりこになりそう。